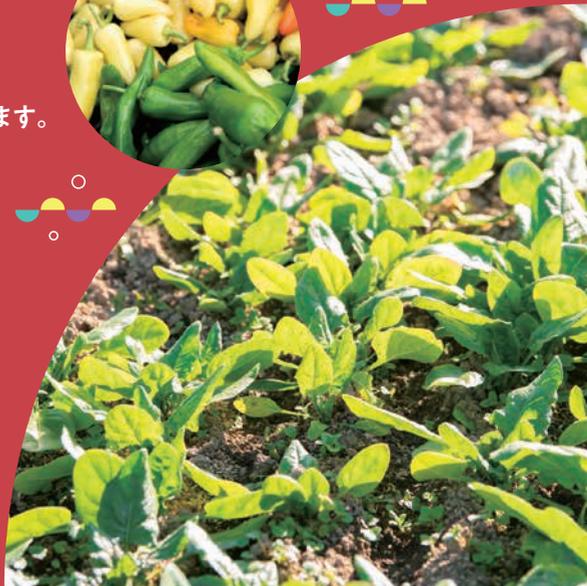


Special Feature
特集

01

個性豊かな新規就農者たち

一念発起して農業をはじめた農家さんたちは
農作物をつかって販売するだけではなく、
さまざまなつながりを元に
さいたま市の農業を盛り上げてくれています。



P10

サカール祥子さん

就農で知った極める楽しさ
日々が学びの充実感



P12

井上信彦さん

自分で作る食べたい食材
就農したからできること



P14

原田利枝子さん

シェア畑からの本格始動
農作業の効率化を目指す



P16

木曾大原さん

地域づくりはライフワーク
憧れの風景を創りたい



P17

鈴木望さん

就農で実現した
願い通りの暮らし

Special Feature
特集

02

マルシェで満喫!さいたま市の農

今、マルシェが注目を集めています。
新鮮な野菜を買うことができるだけではなく、
生産者の想いにふれることで
おいしさが増すのがマルシェの楽しさ。
実は市内ではたくさん開催されているんです。

「農業交流施設」のオープンに向けて



2027
OPEN



サカール 祥子さん
(合同会社十色)

就農で知った極める楽しさ
日々が学びの充実感



- ここで買えるよ!
- JA尾間木ぐるめ米ランド (P30)
 - ヨロ研バル
さいたま市浦和区仲町1-5-15
048-824-1511
 - ふるさと納税

今後の目標!

目指すは日本一

現在40種ほどを生産しています。「日本に唐辛子の食文化を根付かせたい」とにっこり。日本一の唐辛子生産者を目指します。これまでなかった新たなおいしい食卓を提供したいとの願いで今日も足取り軽く畑に向かいます。

十色とうがらしファーム



好きなものを作る喜び

勤務していた障害者福祉施設で学んだ農福連携という考えに共感。農業大学で学んだいきさつもあって、新規就農を決めました。見沼の農地を保全したい、障害者や子育て中の女性のために働く場を提供できたらとの思いがあります。さまざまな作目を検討しましたが、設備や重さの問題から、今は大好きな唐辛子を専門に取り組んでいます。

唐辛子の神秘

唐辛子は辛いだけでなく、フルーティ、さらには甘い種類もあります。ハラペーニョは需要も高く、外食でもよく見るようになり多くの人が食べていると思います。旅行好きで各国を回る中、唐辛子はどこの国にもありました。メキシコ人に好きな唐辛子を聞くとみな違う答えが返ってきたほど。唐辛子は食卓にうま味と深みを与えてくれます。

ふるさと納税

さいたま市では、ふるさと納税の返礼品として、市内産の農産物を多数ご用意しています。ぜひご利用ください。詳しくはこちら!



さいたま市ふるさと納税返礼品にもなっています



特別栽培米



胡蝶蘭



ヨロ研のミネストローネ



発酵ジンジャーエール

井上 信彦さん
(N'sトマトファーム浦和)

自分で作る食べたい食材
就農したからできること



ここで
買えるよ

●直売所 (P53)

●各種イベント等

令和6年6月にさいたまスーパーアリーナで開催された「さいたまスイーツコレクション」では、井上さんのトマト「プチぶよ」を使用したスムージーやマフィンを、国際学院埼玉短期大学の学生が販売しました。フルーティーと好評をいただきました。



今後の
目標!

●プチぶよへの愛

「現状、収穫できる最大量を作れていません。規模拡大よりも、収穫量を上げ美しく旨み濃厚な逸品をできるだけ多く提供したい」と目を輝かせます。トマト好きがセレクトしたプチぶよなら彩り・うま味・栄養を楽しめそうです。

市×パレスホテル大宮×国際学院の取組



○ ○ ○ ○ ○

さいたま市の特産品を使用したレシピを国際学院埼玉短期大学の学生が考案し、プロのシェフが調理した食事やメニューがパレスホテル大宮で提供されています。

さいたま市は(株)パレスエンタープライズと国際学院埼玉短期大学と三者協定を締結し、食育の推進、消費者と生産者の顔が見える関係づくりを通じた地域の活性化に資することを目的として、活動を行っています。



国際学院の短期大学と高等学校の学生生徒は、さいたま市農業祭や大崎公園マルシェなどにも参加しています。素敵な笑顔での接客が来場者に好評です。教員と学生で作ったお菓子をぜひ楽しんでください。



●金融畑からトマト畑へ

そもそもトマト好き。光合成をしっかりとした味の濃いおいしいトマトを食べたい、食べてほしいと思い立ちました。前職で農家さんとの関わりが多く、先々も考え50歳の節目に就農を決心。退職して農業大学校で学び今に至ります。「プチぶよ」は、ほかのミニトマトに比べ皮が薄く果肉がぶにぶにとジューシー。これをメインに生産しています。

●時を重ねる意味

プチぶよの需要を高めるためにはネット販売も一案ですが、皮が薄いので輸送中に傷んでしまいます。ハウス直売なら、生産者の顔を見てもらえます。試食で「皮が口に残らず、しかも甘くておいしい」などと笑顔を見せてもらえると、ますます生産意欲が湧いてきます。経験則を大切に思うので「辛抱強く丹念に生産に励む」と覚悟しています。

原田 利枝子さん
(さいたまCityふぁーまーず、うまさいファーム)

シェア畑からの本格始動
農作業の効率化を目指す



ここで
買えるよ!

- 大和田直売所 (P28)
- 窯茶業『農』(P50)
- 文明堂あおぞら工房マルシェ
さいたま市桜区在家182
毎月第3or第4日曜日開催
開催情報は原田さんのインスタをチェック!

今後の
目標!

試行錯誤も楽しさのうち

ボンジョルノやサンマルツァーノといった加熱で旨味が増す調理トマトの生産を計画中。いずれは甘いフルーツ人参も視野に入れています。「競合しないおいしい野菜がたくさんあるので、それらの安定的な供給を目指します」。



大和田直売所

大和田直売所は、原田さんを含めて7組の農家が農産物を出品しています。営業開始前から行列ができ、昔の八百屋さんのような雰囲気、地域の方に愛されています。新鮮な野菜は当たり前!お店の方も楽しくお話ししながら買えることができるアットホームな直売所です。



知ってほしい知られていない野菜

子育てが始まって有機野菜を買うようになり、2人目が産まれてついには自分で作ってしまうとシェア畑をレンタルしました。シェア畑は苗と講師のサポート付きです。農学部では光合成の研究をしていたので初の生産体験。日々興味が深まり就農しました。市場に出回っていない野菜を供給したいとの一心で日々奮闘しています。

先輩との充実した交流

一人で収穫出荷、販売まで全て行っているため効率が悪いのは否めません。考えているのは体験農園。収穫の楽しさと野菜のおいしさを持ち帰ってもらえます。安心して食べられる野菜作りが永遠のテーマ。畑で出会う農家さんとの語らいが励みです。生産量が追いつかずまだ派遣仕事との両立ですが、いずれは農業1本が目標です。

木曾 大原さん
(さいたま有機都市計画)

地域づくりはライフワーク
憧れの風景を創りたい



IT時代とはいえ、システムに依存しない地域に根差した自給的有機的な豊かな暮らしをしたいとずっと考えていました。行き着くところは就農です。テーマは地域資源の循環。落ち葉は腐葉土に、もみ殻は畑に利用します。信頼を得るために顔の見える関係に尽力しました。やがてお米のおすそ分けや農業機械の貸し出しなど、新規就農者を受け入れてもらえ感謝しています。まもなく不登校の子どもたちと農業スクールを開校します。一緒に農業の可能性を探求します。



ここで
買えるよ！

- THE LJ
さいたま市桜区町谷1-15-1
048-762-8905
- カフェレストラン パオパブ
さいたま市桜区白楸269-3
048-855-8021
- KUROKUMA KITCHEN
さいたま市中央区銚谷8-9-10
050-3551-9690
- 個人野菜セット など

※野菜の販売は不定期

今後の
目標！

● 原点は助け合い

次なる目標は、鶏やヤギの家畜がいる風景を創り出すこと。地域づくりに貢献したいという夢の実現に向け、地域の方に助けていただきながら、野菜作りからきちんと収益を上げ、体制を整えていきたいと考えています。

鈴木 望さん

就農で実現した
願い通りの暮らし



空港の地上職員でしたが、起業への思いはずっとあり自営にあこがれていました。近隣にイチゴ農園があり、娘がイチゴを大好きなので「そうだ、自分もイチゴ農園をやろう」と就農。しかし、ハウスなど初期投資が高くリスクを回避するためネギを極めることにしました。子どもが寝ているうちに出かけ帰宅すると既に寝ていた生活から脱出。畑にいと子どもたちが応援にきてくれます。食事はいつも家族と共にとることができ、ほっと心が和みます。



ここで
買えるよ！

- ヴェルジェ越谷店
越谷市大竹17-17
048-993-4981
など

今後の
目標！

● ネギはキッチンの強力な助っ人

自分の作ったネギに名前をつけたい、収穫体験を始めたい、ネギキムチを作りたいと飽くなき夢の実現に向け今日も自然と向き合います。「お好み焼きでキャベツの代わりにネギをどうぞ。おいしいですよ」とさりげなくネギのPRもしてくれました。